

作成日： 2018年12月6日

株式会社ステップテクニカ

〒358-0011 埼玉県入間市下藤沢 757-3

TEL:04-2964-8804 FAX:04-2964-7653

MKY34 電源投入時における現象について

MKY34 搭載のお客様装置に於いて、この数か月下記内容と同様のお問い合わせを数件いただいております。下記その内容についてご案内申し上げます。

<お問い合わせ事例>

HLS のシステム構成（マスタ:MKY36 /スレーブ:MKY34 数ノード）に於いて、システム起動時に、マスタ IC（MKY36）のコントロールエリア内の DREQ フラグが"1"になります。今まで、このような現象が発生したことがありません。また、MKY34 搭載のスレーブボードでは、「シリアル ID 送信機能」は使用しておりません。

<ご回答>

貴社装置装置でのセンタ側の DREQ フラグが"1"になるとのことですが、この事象は、MKY34 の電源投入時において発生することがあり得る現象です。

IC の異常やエラーを表すものではありません。MKY36 のコントロールエリア内の bit8（DREQ）が"1"の時は、MKY34 がマスタへシリアル送信要求を送信していることを表していますが、MKY34 の電源投入時の状況に関係しています。

以下ご説明させていただきます。

MKY34 は電源投入時において、複数の電源端子へのわずかな供給ずれなどにより MKY34 内部において、SLD 端子へ立上りエッジ信号が入力された場合と等価な状態が発生することがあります。

この現象が発生した場合、MKY34 は SLD 端子へアサート信号が入力されたとして、MKY34 はマスタへシリアル送信要求の送信を開始します。

マスタはこの送信要求を受信すると、この通知としてコントロールエリア内の bit8 に"1"を表示します。

以上の様にして、電源投入時の状況によっては、MKY34 のシリアル送信機能を利用しないような環境においても、コントロールエリア内の bit8 が"1"になることがあります。

この現象については、弊社 MKY36 ユーザーズマニュアル（MKY36 STD-HLS36-V2.3J.pdf）"2.5.4 MKY34 のシリアル ID 送信機能に対する注意（P.2-40）"に記載がございます。

また、コントロールエリアに表示される値の内容については、同マニュアルの"2.4.1.2 コントロールワード（P.2-15）"をご参考下さい。
MKY36 IC マニュアルは以下 URL よりダウンロードしてください。

URL : http://www.steptecnica.com/jp/products/04_ic/mky36/download/STD-HLS36-V2.3J.pdf

以上